

当選おめでとうございます

＝新議員20人の顔ぶれ＝

新しく当選した議員は、町民の代表者として、これから4年間
“豊かで住みよい町づくり”に町議会のなかで活躍することでしょう。



渋谷 克己 (追分)



佐藤 幸孝 (塩口)



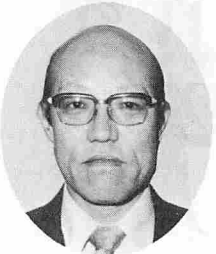
佐藤 恵佐雄 (追分)



児玉 鉄美 (天王)



菅生 春司 (羽立)



越後谷 一 (天王)



越前屋 英三 (追分)



佐々木 吉男 (下出戸)



佐藤 栄蔵 (二田)



安田 慶悦 (羽立)



吉田 新悦 (大崎)



石黒 康郎 (天王)



伊藤 邦夫 (二田)



堀井 克見 (二田)



藤原 直一郎 (江川)



渡部 金蔵 (二田)



丸野内 多助 (追分)



三浦 兼 (大崎)



藤原 俊久 (二田)



児玉 長栄 (児玉)

都市計画区域の見直し素案まとまる

新たに373ヘクタールを

都市計画区域に編入

区 域	面 積 ha
----- 引き続き都市計画区域となる区域	1,200
----- 新たに都市計画区域となる区域	373
▨ 引き続き市街化区域となる区域	110
▨ 市街化調整区域から市街化区域となる区域	133
▨ 新たに市街化区域となる区域	131
▨ 引き続き市街化調整区域となる区域	957
▨ 新たに市街化調整区域となる区域	242

本町の都市計画は、昭和四十六年三月、新しい都市計画法に基づき、①積極的に市街化を図る「市街化区域」と②市街化を抑制する「市街化調整区域」、さらに市街化区域には、住居、商業、工業など四区分の用途地域を定めています。

都市計画法によると、五年ごとに人口規模、交通量などを見て、計画の手直しをする

今回の変更にあたっては、人口規模、市街地の面積、土地利用、交通量などの現況や

**編入は厳正かつ
詳細な調査から**

昭和六十五年を目標に

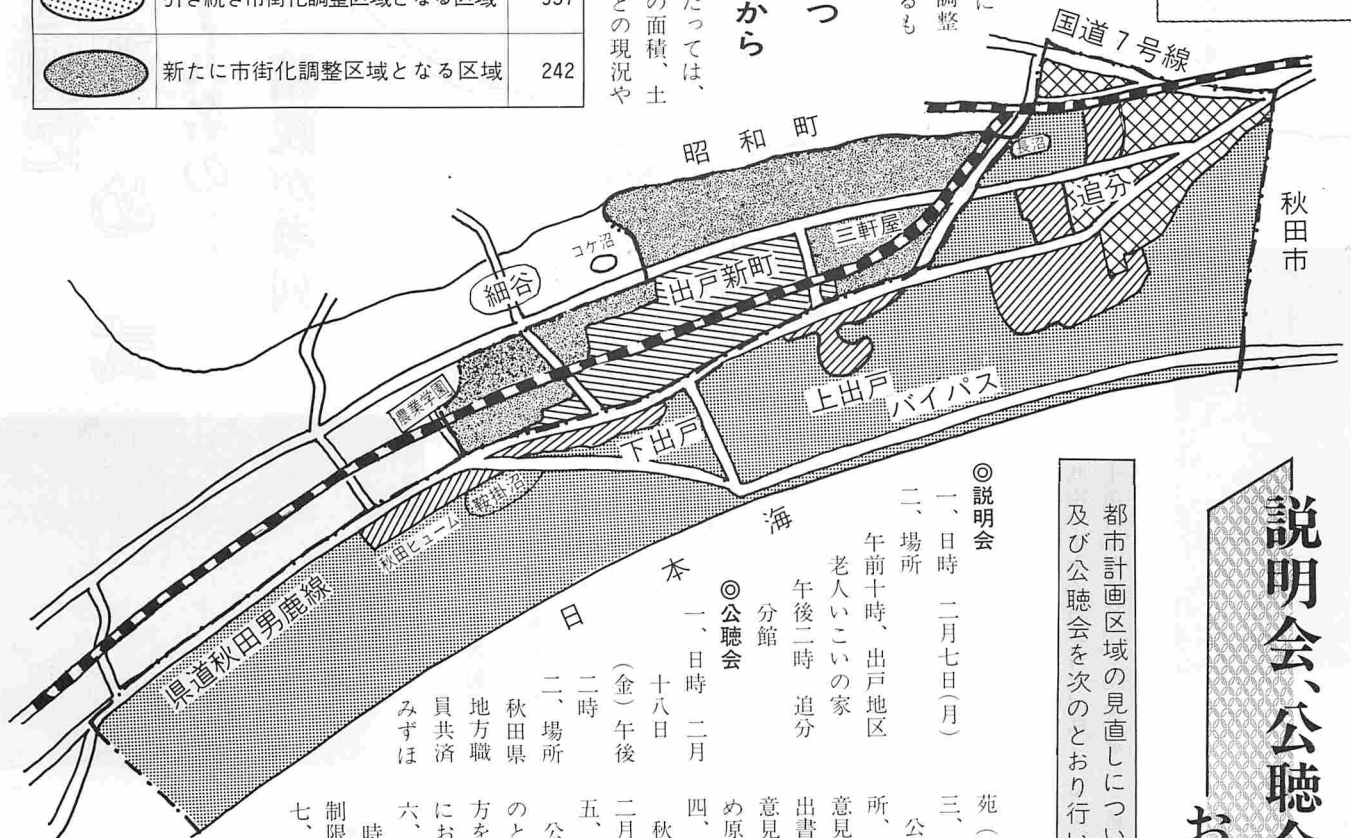
ことになっており、今回は第二回目の見直しの年にあたり六十五年を目標に市街化区域市街化調整区域を一部変更するものです。

二月十八日

公聴会で住民の意見を反映

清潔で住みよい環境づくりを旨とし、町では昭和六十五年を目標に都市計画区域の見直し作業を進めてきました。

この程、その素案がまとまりましたので、説明会、公聴会を開催し、みなさんの意見を反映させながら、魅力的な街づくりを進めていきたいと思います。



その見直しについて詳細な調査結果をもとに、検討しました。また、市街化区域へ編入する必要がある地域は、厳正なる地域を編入しました。基準を設けて、これに適合する地域を編入しました。

説明会、公聴会のお知らせ

都市計画区域の見直しについての説明会、及び公聴会を次のとおり行います。

◎説明会

一、日時 二月七日(月)

二、場所 午前十時、出戸地区 老人いこいの家

午後二時 追分分館

◎公聴会

一、日時 二月十八日 (金) 午後二時

二、場所 秋田県地方職員共済みずほ

三、公述の申し出 公述を希望される方は、住所、氏名、年齢、職業および意見の要旨を書いて「公述申出書」を提出してください。

四、提出先と期限 秋田県土木部都市計画課へ

五、公述人の選定 二月十二日まで必着のこと。

六、公述時間 公述を希望される方が多数のときは、公述人となられる方を選んで、その結果を本人にお知らせします。

七、傍聴 自由に傍聴できます。

八、問い合わせ 町企画室(78)二二二一

県都市計画(60)一八〇一

自由

時間

制限

時間

あり

ます

。

。

。

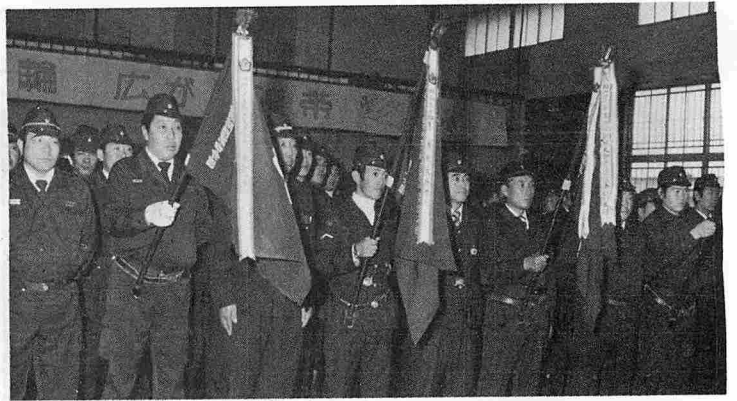
。

。

。

。

。



防災への誓いを胸に 出初め式

三百四十九名の

1月8日

恒例の天王町消防団の出初め式が一月八日、天王町公民館を会場に行われた。

防災への誓いも新たに、町内十二分団から、二百四十九名の精鋭が参列し、厳粛に式典にのぞんだ。

はじめに出場人員の報告があり、続いて団旗入場後、無火災と消防団員の安全を祈願し、黙とうがさげられた。

その後、柏崎消防団長が「消防精神の原点にたち、より一つその消防技術の研さんに努めます」と答辞をのべた。

また、永年にわたり消防活動に功績のあつた方々の表彰が行われた。

町民の生命と財産を守る消防団員の表情は厳しい

表彰者は次のとおり

◆秋田県知事表彰◆

() 内数字は分団名

○有功章

安田末蔵(9)、鈴木礼一(6)、佐々木孝市(8)

○三十五年勤続章

吉田理之助(副団長)、佐々木松之助(8)、佐々木孝市(8)、加賀谷豊治(8)、加賀谷久治郎(8)、菅原兼太郎(12)

○二十五年勤続章

菅原与一郎(12)、渡辺欽也(1)、児玉正光(3)、大貫金一郎(12)

○二十年勤続章

伊藤清太郎(3)、桜庭進(7)、加賀谷恵一郎(8)、桜庭一明(7)

◆秋田県消防協会長表彰◆

○顕功章

菅原清(大崎)、安田秀男(羽立)

○功労章

鈴木秀夫(6)、菅生民夫(11)、船木龜藏(9)

◆男鹿南秋支部長表彰◆

○七年勤続章
畠山源一(1)、薄田芳則(1)

○優良消防団員

谷欽作(1)、菊地清春(1)

精鋭が参列

菅生周一(6)、渡部優一(9)、鈴木重明(9)、渡辺行雄(9)、佐藤貴代司(9)、桜庭鉄男(10)、薄田一(12)

○一般協力者

鎌田文雄(蒲沼)

◆天王町長表彰◆

○消防施設整備協力者
内田剛(天王)、菅生喜太郎



町長から無火災分団を代表して表彰を受ける第三分団班長の伊藤清太郎氏

○無火災分団

(中羽立)、(柳瀬不動産、瀧広明(秋田市)、菊地東太郎(児玉)、菅原周一(大崎)、佐々木五郎吉(下出戸))

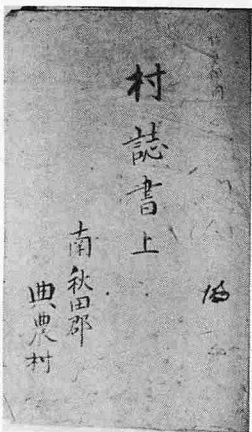
郷土史コーナー [124]

村誌書上

郷土の姿を知らせてくれる町勢要覧の発行も、町制三十周年をもって七回を数えることになった。これら要覧の原型をなしたものが、村誌書上ということになる。既刊の「天王町誌資料」に大小区画制のもとにあつた明治十年(一八七七)の村誌書上が掲載されているが、残念ながら、それは同四十

四年の写本によるものである。しかし、自性院には、郡区町村編成法施行のもとに編纂された村誌書上が伝えられている。これは、原本と推定される貴重な資料である。表書「村誌書上南秋田郡典農村」とあり、幅員調査済、捺印等検閲のあとが録されており、末尾に「明治十二年九月戸長鎌田左右助」とある。本文は、村の来歴、枝村の状況等十年の村誌書上同様三十項目ほどに亘って記されているが、税地、貢租の項は、

朱筆、張紙で多くの修正が施されている。また、全野紙一枚に書かれた全文朱筆の村の変遷の概略が挿入されており、「牛頭天王神社縁記」も記録されている。更に、追加として「並樹」の項があり、「文政十三年典農村農児玉庄三郎ナルモノ男鹿街道追分ヨリ典農村ニ至ル迄数里間ノ並木ヲ植栽ス……」と、その功績を讃えている。村誌は、時の権令石田英吉が書き上げを命じたものであろうが、この記録があることよって、郷土の推移を知る一つの手がかりを得ることが出来る。今ある七冊の町勢要覧を大切に保存するとともに、大いに活用していきたいものである。(石川記)



町民の生活情報

四日から

昭和五十八年度、町県民税の所得（昭和五十七年一月一日〜十二月三十一日までの所得）申告相談を次のとおり行います。

▽申告期間

昭和五十八年二月四日〜三月十五日まで。

◎申告しなければならぬ人

○昭和五十八年一月一日現在天王町の住民基本台帳に登録されている人（一月一日現在に他の市町村に登録されている人でも、生活の根拠が天王町にある場合は、天王町に申告しなければなりません）

○昭和五十七年中の所得が給与所得のみで勤務先から町長あてに給与支払報告書が提出されている人は原則として申告する必要がありませんが、次のような場合は申告する必要があります。

- ① 給与所得以外の所得がある場合
② 雑損、医療費控除を申告する場合
③ 二カ所以上の所得がある人は確定申告をしなければ

昭和58年度 町県民税申告相談日程表

Table with columns: 月日, 曜日, 対象地域, 世帯番号(上2ケタ), 申告相談会場, 受付時間. Lists dates and locations for tax consultation.

※ 都合により、上記地域の申告日に申告できない方は3月8日〜15日までに必ず役場税務課で申告してください。

所得税、資産税の納税相談日程

Table with columns: 月日, 曜日, 内容, 対象, 会場, 受付時間. Lists dates and locations for tax payment consultation.

なりませんが（例えば、給与所得と農業所得、営業所得等がある人）

○ 申告をしなくてもよい人
※ 事業税の申告を必要とする人は、町県民税の申告を

○ 所得税の確定申告（青色）
証明書（勤務先からもらった）

七、印鑑
精算書

することによって事業税の申告書を提出する必要がありません。
◎申告相談のときに必要な書類
一、町県民税の申告書
二、国民健康保険証、社会保険証（家族構成のわかるもの）
三、源泉徴収表、または給与証明書
四、営業所得の場合には所得計算内訳書
五、国民健康保険税、国民年金、支払医療費、生命保険料の領収書または証明書
六、大農具の修理費（一農具五万以上のもの）、支払小作料、水田基盤整備費に係る費用、客土費、借入金利息等の支払い領収書、農協

奨学金貸与生を募集

町育英会では、昭和五十八年度奨学金貸与生を次により募集します。

募集人員
高校・高等専門学校、及びこれに準ずる学校の新入学者並びに在学者、十名以内。
また大学及びこれに準ずる学校の新入学者並びに在学者八名以内。

応募資格

本町に二年以上上居住し、学術品行ともに良好で学費の支弁が困難と認められるもの。
賞与金額
○高校生 月額 一万円以内
○高専生 月額 一万三千円以内
○大学生 月額 二万五千円以内
返済方法
(卒業後一年据置)
○高校生：五年以内
○高専生：三年から七年以内
○短大生：四年以内
○大学生：八年以内
返済は、元金均等月賦方式とし、一時返済もできます(貸与希望生は教育委員会まで)

自衛官を募集

昭和五十八年度、二等陸海・空士の自衛官を募集しています。

▽試験方法
筆記、口述、身体、適性検査

▽期日・場所

日曜・祭日を除く三月三十一日までの間、自衛隊地方連絡部秋田支部へお申し込みください。(☎〇一八八(四五)八六五八)

追分児童館で楽しい一日

寒さをもものともせず タコあげに熱中

伝承文化の集い



男子に負けられないという気持ちで頑張っていました。

「テレビゲーム、パソコン全盛時代、でも昔の遊びは捨てがたいもの」
町内の児童が一同に集い仲間意識の高揚を図りながら、手づくりによる創作活動を通して、健全育成につとめようと、1月12日に追分地区児童館を会場に「伝承文化の集い」が行われた。

この日は、各児童館の協力により約60名の児童が参加し、昔なつかしい「タコづくり」に一生懸命取り組んでいた。慣れない手つきでナイフを手に竹げつり、そして竹組み作業と続き、それが終わるとこんどは「神風」「飛車」「亥」など思い思いの図柄を描いていた。

午後2時頃には、ほとんどのグループが完成し、空地を利用して試験飛行を行った。

当日は、ときおり雪が吹きすさぶまますのタコあげ日和。天高く舞い上がり、糸が続かずに行くえ不明になるタコが出たり、思惑どおりに上がらずオッパ調整の必要なタコなどさまざま。寒さをもものともせず、子どもたちは時間のたつのも忘れて、歓声をあげ、走り回っていた。

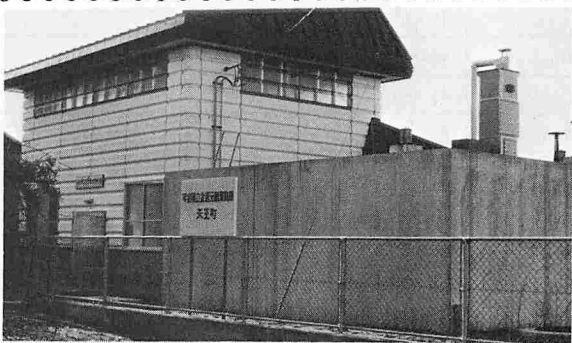


使いたくない「ナタ」を手に入れない「ナタ」の児童たち

健診のお知らせ

月日	事業名	対象	受付時間	会場
2月4日	3才児健診	S54.7月8月生れ	12:30~13:30	天王町公民館
" 9日	1才半健診	S56.7月生れ	12:30~13:00	二田地区ことぶき荘
" 18日	7ヶ月児健診	S57.7月生れ	"	"
" 23日	麻疹予防接種	1才半~6才	12:30~12:50	天王調整センター
" 24日	"	"	"	"
" 25日	4ヶ月児健診	S57.10月生れ	12:30~13:00	天王町公民館

※母子手帳をご持参ください。



一向地区簡易水道完成

一向地区簡易水道事業による配水管の増設工事が昨年十一月に完成した。

一月に完成した。

この工事により新たに給水対象区域となったのは、神明町、旭町、上荒町の三地区で事業費五千二百万円、配水管の布設延長四千五百四十四メートル、消火栓二十四基が設けられた。新しく給水対象区域となった三地区は、ほとんどの家庭がホームポンプに頼っている現状である。
一向地区簡易水道の浄水場は、昭和五十六年に建設されたもので計画給水人口二千人を見込んでおり、人口増加の著しい給水対象区域の将来展望を考慮した施設である。
(この施設は年金積立融資施設です。)

全県綱引き大会

江川漁協 男女とも全県を制す



初出場で全県制はの「日本海ヤングパワーズ」

昨年の全日本綱引き大会で準優勝を飾り「天王町」の名を全国に高らした江川漁協青年部(男子の部)と、またその奥さん達を中心とした日本海ヤングパワーズ(女子の部)が、1月23日に秋田市で行われた第2回全県綱引き選手権大会で、見事アベック優勝。2月11日に行われる全国大会へ駒を進めた。

標準を全国大会に

今年こそ全国優勝をと意気込む江川漁協青年部は、他チームを気迫で圧倒。優勝決定まで全てストレート勝ちを納めた。

語っていた。

また、今年初出場の「日本海ヤングパワーズ」は、町内の男子チームといっしょに練習した力を存分に発揮して、決勝に進出。決勝では、昨年優勝の仁井田休協チームと対戦し若さとパワーでスタミナ勝ち。「日本海ヤングパワーズ」の名称について尋ねると、「海で働く男たちの妻として日本海は切り離せません」と控えめに話してくれた。

乱れないことが大切です」と

男女共、全国大会での活躍が大いに期待される。

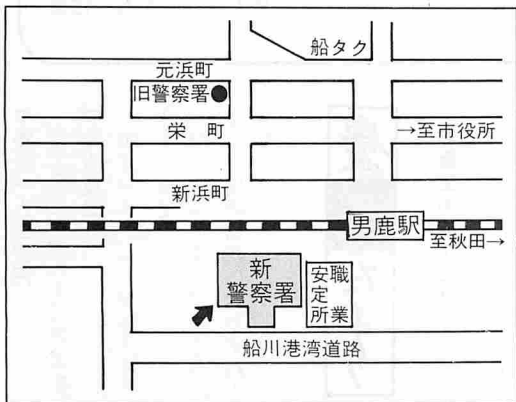
男鹿警察署 新築移転のお知らせ

3月1日から 業務開始

新築工事中の男鹿警察署新庁舎が2月25日完成します。3月1日から新庁舎で業務を開始しますのでお知らせします。

◇移転先

男鹿市船川港船川字新浜町1番地4



家庭バレーボール大会

2月20日に開催

- ▽第一会場 (若妻の部) B & G 天王 海洋センター
- ▽第二会場 (主婦の部) 天王町公民館
- ▽第三会場 (壮年) 天王小学校体育館
- ▽第四会場 (青年の部) 天王中学校体育館

不用犬を回収

※ 詳細については、天王海洋センターにおたずねください。(☎七八一六九五)

不用犬の回収を次により行います。

◎回収日：……二月十四日(月) 午前九時までに不用犬を役場前に連れてきてください。

※ 犬の放しがいはやめましょう。



第四回 ドッジボール大会

息をはずませ コート縦横無尽

おとそ気分もさめやらぬ一月九日、B & G 天王海洋センターと町公民館を会場に、第四回天王町ドッジボール大会が行われた。

回を重ねるごとに、各チームともスピードとパワーアップが図られ、参加した男子七チーム、女子四チームの各選手はコート狭しと走り回っていた。

試合はリンク方式がとられ、体のバランスをくずしながらもフアイトあふれるプレーが続出

男子では、準決勝で下戸チームと二田チームが対戦、お互い相ゆずらず抽選となった抽選でも予断をゆるさず、七対六でからくも下戸チームが勝ちを納めた。

優勝争いは下戸チームと大崎チームの対戦となり、下戸チームが大崎チームを二〇対一と圧勝した。

女子の決勝は、二連ばをねらう大崎チームと下戸新町チームの争い。実力伯仲の両チームは、好試合を演じ、同点決勝にもつれこんだ末、十四対十一で大崎チームが辛勝した。

ふだんスポーツに親しむ機会の少ない主婦の方々も、この日ばかりは、汗をふきふきボールを追っていた。

成績は次のとおり

▽男子▽
○優勝 下戸チーム

一月十五日

新年互礼俳句会 年度賞に佐々木汀月 三浦 絹子の両氏

新年互礼俳句会が、一月十五日天王町公民館を会場に行われた。

当日は、和気あいあいのうちに、名刺交換が始まり、昨年一年をふりかえり、新たな前進を誓いあって散会した。

席上、年度賞に、佐々木汀月

月、三浦絹子の両氏が輝き新人賞は桜庭慧子氏が受賞した。

- 優勝 大崎チーム
- 準優勝 出戸新町チーム
- 第三位 江川チーム
- 〃 児玉チーム
- 優勝 大崎チーム
- 準優勝 出戸新町チーム
- 第三位 江川チーム
- 〃 児玉チーム

俳句

持谷地 安田 幽子
短日の釘打つ大工早手打ち
二田 三浦 絹子
初霞湯気ながながと土鍋粥
天王 京谷 蒼湖
着ぶくれて医者なき里の流行風邪

塩口 桜庭 慧子
限られた窓に黒鳥北を指す
追分西 佐藤 金
初雪に大の字を書く孫と居る

川柳 「反省」
大崎 吉田 兼広
ふりかえる我が人生はなんでしょう

二田 渡部 ツナ
反省の色は濃い程美しい
二田 薄田国三郎
一言が過ぎて思わず口ふさぎ
大崎 吉田 義雄
反省を埋めつくして男妥協する

塩口 桜庭 たえ
大人びし「中一」の孫の制服の胸のボタンに初陽かがやく
追分西 上法 敏子
わが肩の痛むを五十肩と言いつは娘の年もなげけり
二田 村井 広子
難儀して始めて人になるという言葉を胸に今日を生きゆく
上北野 畠山あい子
如月の笹の葉鳴りの侘しけれ歌きかせつつ吾子に添い寝す
下戸 佐々木金太郎
修善寺や頼家が墓にひかれつつ新春のしじまを吾も香つぐ

短歌

国民年金

所得控除の手続きを忘れずに

国民年金の保険料は期限まで納めておきましょう。国民年金の保険料は社会保険料として所得控除を受けることができます。控除を受けられるのは、昭和57年1月から同年12月まで納めた保険料の額です。これには翌年以降の保険料を前納したときや納め忘れていた分を昭和57年になってから納めた額も含まれます。お手元の領収証などでこの1年間に納めた保険料額を確認のうえ、年末調整のとき、あるいは確定申告の際には忘れずに控除の手続きをしてください。なお、みなさんの納めた昭和57年の保険料は次のとおりです。昭和57年保険料(月額) 1月から3月まで 4,500円、4月から12月まで 5,220円、付加保険料 400円

交通災害共済に

加入しましょう

自動車の急増により、私たちの生活は更にスピードが図

られました。その反面、交通事故は絶えることなく、毎日

俳句「早春光」

渡部 六愁

凍蝶を描き終え色紙灯に焙る 組板の削が奏でる春隣り 大寒や松の緑りを活けて置く 早春光厚い樹皮むく袖ひとり

闇の底浄める春の雪ぬくし 春立ちぬ朝光でぬる髪油 日脚伸び厨の薬罐沸騰す 国訛り躑づく闇の二月盡

のようには痛ましいニュースが報じられ、私たちの日常生活に暗い影を投げかけています。そこで、県内七市六十カ町村民お互いの助け合いによって、交通事故の被災者を救済し、明るい生活を守ろうというのがこの交通災害共済組合制度です。 加入できる人 町在住の人で、住民基本台帳に登録されている人、または組合加入市町村の事業所、学校等に通勤、通学している人



お誕生おめでとう

▽掛金一人三百円 (年度中の加入もできます)
▽共済期間 四月一日から、翌年三月三十一日まで。
申し込み、及び詳細については役場総務課におたずねください。

十二月中

北野 出口 長 兼 充 輝
羽立 安田 二 兼 義
上沖中谷地 三浦 健 次 男
上江川 島山 健 隆
羽立 鈴木 功 喜
塩口 長 健 光
上江川 藤原 雄 幸
羽立 安田 清 光
二田 村井 政 克
羽立北野 安田 政 天
上江川 天野 征 雄
中分水 児玉 千 尋
大長根 佐藤 孝 一

二人の前途を祝福します

塩口 雄和町 鎌田 清美
五城目町 畑 和夫
男鹿市 渡部 雅美
東京都 矢作 雅美
天王 柏崎 弘子
上沖中谷地 三浦 妙弘
上出戸 古山 栄子
埼玉県 飯塚 洋子
鹿児島県 諏訪園 隆夫
二田 小柳 雪雄
神奈川 村松 敏彦
長野県 高橋 信彦
塩口 桜庭 園子

善意ありがとう

このたび、天王字天王一四〇の二〇の西村富士夫さんより、養父菊治さん死亡の際の香典返しとして金二万円を町社会福祉協議会に寄せられた。また、天王中学校生徒会一同からは、文化祭での売上げ金一万五千元、◇ 渋谷部落子ども会より、なまはげの際の収益金として金五千元が、それぞれ町社会福祉協議会に寄せられた。
◇ 塩口老人クラブ(会長桜庭専太郎)より、雑きん一〇枚が町公共施設用に ◇ また天王町商工会より昨年十一月の町文化祭での収益金の一部で購入した湯のみ茶碗二〇個が同協議会を通じて町内老人憩の家へ寄贈された。
◇ 天王字ハラハ八八の七の児玉甚之助さんから、郷土資料に役立ててくださいと、アイヌが使用した石器(木の皮はぎ)を町公民館に寄贈された。 どうもありがとうございま

下出戸 佐々木 悦男
不動台 米谷 梨恵
塩口 桜庭 直樹
二田 佐々木 博光
上北野 吉野 栄司
上北野 長安 真樹子
蒲沼 安田 一三三
上北野 長安 真樹子
羽立 鈴木 浩悦
二男 成田 生悦
上北野 菊地 良子
男鹿市 小嶋 淳雄
天王 佐々木 征喜
上江川 鈴木 正喜
天 菊地 正喜
二田 菅原 小恵子
秋田市 伊藤 勝彦
松 尾村 勇修
秋田市 尾形 修
下出戸 加賀谷 祐紀子
埼玉県 望月 文夫

おくやみ申し上げます

江川 桜庭 忠治郎 73才
二田 村井 千代吉 84才
鶴沼台 伊藤 弘子 52才
持長根 渡部 金三 82才
北野 田中 正子 70才
上江川 伊藤 安子 35才
塩口 増谷 義明 37才
上江川 桜庭 菊 37才
塩口 桜庭 義明 37才
天王 西村 菊 治 85才
天王 鈴木 哲 宗 75才